

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「きらり」新潟西校			
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		～	2025年 12月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	9
○従業者評価実施期間	2025年 12月 1日		～	2025年 12月 20日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数)	6
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 13日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援の中で、お子さんの個性や特性、発達段階に合わせた支援を行っている。	お子さんの個性や特性、発達段階に合わせた支援を提供しています。また、個別支援のため、お子さんの興味関心に合わせた課題の提示も行っています。	職員全体で、よりよい支援を実施するため全体での情報共有を徹底していきます。必要に応じて研修への参加も実施します。
2	ご家庭との連携を行っている。	毎支援後に保護者の方とお子さんの様子を共有する時間を設けています。また、必要に応じて支援場面を見学していただいた上でお子さんへの対応を共有したり、事業所内での相談援助も実施しています。	継続して支援後の保護者の方とのお話しの時間を設けていきます。事業所外でのお子さんの様子も細かく伺いしたり、関わる関係機関との連携も深めていきます。
3	職員同士の連携を行っている。	お子さんと保護者の様子の共有や、関係機関からの情報提供に関する共有等を行っています。必要に応じて、ケース会議の実施もしています。	引き続き、職員同士での情報共有を確実に行います。後から振り返れるように文面での保管等も検討します。支援内容の一貫性を保ちつつ、利用者さんが安心して通所できる環境作りを進めていきます。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設のバリアフリーの観点と一部老朽化に伴う施設内環境について。	玄関に段差があるなど、バリアフリーの観点で課題があります。また、施設内が一部老朽化していることもあり冷気が気になることがあります。	必要に応じて、簡易スロープの設置を検討します。エアコンやヒーターの設置等によって、快適な環境作りを目指します。
2	職員の人数に余剰がない。	基準配置は満たしているが、職員数に余裕がなく有休休暇の取得が難しいことがありました。また、利用者さんへ時間や曜日変更をお願いすることもありました。	他教室とも協力し、ヘルプ対応を行います。
3	SNSでの発信の頻度が少ない。	SNSでの情報発信の頻度に企てられる時間がありませんでした。	InstagramやHPでの情報発信の頻度について、事業所内で話し合いを行います。

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名		公表日 2026 年 2 月 14 日						
		利用児童数				回収数		
		9				9		
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環 境 ・ 体 制 整 備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	8	1	0	0		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	5	2	0	2	言語聴覚士や、支援員の資格のある人がもう少し多いと嬉しい口	他事業所とも連携を図りながら、専門的支援の実施に努めていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6	3	0	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	5	2	0	2	トイレの改善	必要に応じて補助便座や台を利用して頂いておりますが、改善の余地がないか検討いたします。
適 切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	8	1	0	0	専門的関わりができる人が少ないので増員してほしい口	他事業所とも連携を図りながら、専門的支援の実施に努めていきます。
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	7	0	0	2		
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	8	1	0	0	支援計画は責任者が支援員から直接話を聞き、作成するため、直接児童と関わるか、支援計画説明の際に支援員も立ち会いだと良い。	児童発達支援管理責任者が可能な範囲でお子さんのご様子を直接みさせていただくとともに、計画説明時の指導員の同席も実施します。
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	9	0	0	0		
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	9	0	0	0		
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	5	1	0	3		
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	1	1	3	4		
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	8	0	0	1		
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	9	0	0	0		
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	2	2	1	4		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	7	2	0	0		
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	8	1	0	0		
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9	0	0	0	関わりの多い支援員の方と子どもの関係は良好。	良好な関わりを保てるように継続した支援をさせていただきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	2	3	2	2		

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5	2	0	2		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9	0	0	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	7	0	0	2		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7	1	0	1		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	4	1	0	4		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	3	1	0	5		
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5	0	0	4		
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	6	0	0	3	事故に遭っていない□	引き続き、事故等がないように運営して行きます。 万が一事故等があった際には迅速に対応させていただきます。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	9	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	7	2	0	0		
	29	事業所の支援に満足していますか。	8	1	0	0	・いつも子どもが楽しみながら学習できるように様々な取り組みをしていただき、先生方に感謝しております。 ・見学させていただくと親にとっても勉強になることが多く、支援の様子を参考に自宅でできる部分を取り入れています。□	引き続き、お子さんが楽しみながら活動に取り組めるように工夫します。 また、保護者の方とも密に連携を取りながらよりよい支援に繋げていきます。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		こどもサポート教室「きらり」新潟西校					公表日	2026年 2月 14日		
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点				
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		法令を遵守したスペースの確保をしています。					
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		法令で必要とされている人員配置はしています。	余裕のある職員配置になるとよいと思われます。				
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		各支援スペースをパーティションで区切り分 かりやすくしています。	玄関に段差があるなど、バリアフリー化はさ れていません。				
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		清掃を実施し、必要に応じて支援教材の消毒 も実施しています。	床がカーペットのため、衛生面がやや気にな る点もあります。				
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認めら れる環境になっているか。	○		必要に応じてパーティションを移動させる等 で個別スペースの確保は可能です。	完全な個室ではないため、音の遮断は難しい です。				
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、 広く職員が参画しているか。	○		日々の振り返りを定期的な全体ミーティング や個々で行っています。					
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設け ており、その内容を業務改善につなげているか。	○		年に1回実施しています。					
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に つなげているか。	○		個々の業務内容を都度確認しながら取り組ん でいます。					
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている か。		○	職員と利用者の二者評価です。	必要に応じて実施を検討します。				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で 研修を開催する機会が確保されているか。	○		法人内で定期的に研修を実施しています。 必要に応じて外部研修にも参加しています。					
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。		○	HPIにて公表しています。					
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者 のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成 しているか。	○		定期的にあセスメントを実施し、個別支援計 画を作成しています。					
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけ でなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最 善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		職員で話し合いを実施し、計画内容を検討し ています。					
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われ ているか。	○		個別支援計画の内容を共有し、計画に沿った 支援を実施しています。					
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォー マルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルな アセスメントを使用する等により確認しているか。	○		法人内で統一したアセスメントシートを使用 しています。 発達検査や保護者の方からのお話しも踏まえ てお子さんの現状把握に努めています。					
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支 援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支 援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえな がら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具 体的な支援内容が設定されているか。	○		個別支援計画に「本人支援」、「家族支 援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連 携」を明記し、各項目ごとに支援内容を設定 しています。					

の 提 供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		職員間で話しあいながら、お子さんの状況に合わせた活動を提供しています。	よりよい支援を行えるように、今後も個々の状況に合わせた活動を提供していきます。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		職員間で話しあいながら、お子さんの状況に合わせた活動を提供しています。	よりよい支援を行えるように、今後も個々の状況に合わせた活動を提供していきます。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○		不定期開催の小集団療育の時間を提供し、必要に応じて参加のお声掛けをしています。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		朝礼を実施し確認を行っています。 都度、職員同士で話し合いも実施しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		終礼を実施し確認を行っています。 都度、職員同士でできごとの共有も実施しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		毎支援毎に記録を作成し、必要に応じて見直しを行っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		最低でも半年に1度のモニタリングを実施し、計画の見直しを行っています。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		児童発達支援管理責任者、もしくは主に支援を担当する職員がサービス担当者会議等に出席しています。	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて利用者さんの通う園等と連絡を取り合うなどしています。	今後も継続して関係機関との連携を図れると良いです。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		徐々に利用者さんの通う園との連携も取りながら情報共有を図っています。	今後も継続して利用者さんの通う園等との連携を図れると良いです。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○		就学時には支援情報提供書をお渡ししたり、移行会議への参加を行い相互理解を図っています。	
	28	(28～30は、センターのみ回答)				
		地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答)		○		直接助言を受ける機会は少ないため、積極的に助言を求めたり主催の研修に参加する等していきます。
		地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。				
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。		○		地域の中で他の子どもと活動する機会は設けていません。今後、個々の状況に応じて必要があれば検討します。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		毎支援後、フィードバックの時間に保護者の方とお子さんの様子を共有する機会を設けています。	

	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		○	支援後のフィードバック時にご家庭での対応等について適宜お話しさせていただいてはいます。	ペアレントトレーニング等の実施ができるよう検討します。
保 護 者 へ の 説 明 等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○		契約時に説明を行っています。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		モニタリング時等に保護者の方とお話しをしたり、可能な範囲でお子さん自身にも意思確認を行い個別支援計画を作成しています。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		保護者の方へ丁寧に説明することを心掛け、同意をいただいています。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		必要に応じて家族支援の時間を設けています。	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		○	ママカフェを実施しました。	保護者同士の交流の機会は少ないです。保護者会の開催頻度を増やすことや参加率向上について検討します。
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		相談や申し入れについては迅速に対応を心掛けています。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		InstagramやHPで活動の様子を掲載しています。連絡体制についてはLINEを活用しています。	InstagramやHPの更新頻度については検討していきます。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報の記載された書類は鍵付きの書庫に保管しています。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		言語以外でもコミュニケーションを図ったり、視覚化する等の工夫を行っています。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○	地域住民の招待といった開放は行っていません。今年度は外部の方を招きイベントを実施しました。	利用者さんの状況に応じて、必要性を検討します。
非 常 時 等 の 対 応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各マニュアルの作成と研修、訓練を実施しています。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		BCPを策定し、必要物品の備蓄、定期的な訓練を行っています。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		基本情報シートに記載の欄を設けています。また、フィードバック時等、適宜確認しています。	
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		食事の提供はしていませんが、アレルギーの有無について基本情報シートに記載の欄を設けています。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を策定し、研修・訓練も実施しています。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		緊急連絡先をお伺いするなどの対応を行っています。また、契約時にご説明させていただいています。	

	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		ヒヤリハット事例が起きた際には報告書の作成を行い、事業所職員で共有、再発防止に向けた話し合いを実施しています。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待防止研修に参加し、適切な対応を徹底しています。	
	53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		研修に参加し、事業所全体で共通認識を図っています。 身体拘束に関して契約時にご説明させていただき、個別支援計画にも記載しています。	